

Felipe Alonso / スペイン

スペイン コルーニャ（スペイン）を拠点に絵画、ドローイング、版画、彫刻などの作品を制作・活動する。Felipe はマドリッドのコンプルテンセ大学で美術の学位を取得。スペイン文化省によるパリでのアーティストック・レジデンシーを経験。パリのスペイン大学で学んだ後、アラウコ財団の大学院奨学金を得て、マドリッドでギジェルモ・ムニョス・ベラの指導を受ける。

Felipe は、これまで数々の賞を受賞しており、その中にはマドリッド工科大学のデッサン部門の最優秀賞、フランシスコ・デ・ゴヤ・カテドラ賞、芸術家財団の賞などがある。

Felipe の個展は、パラシオ・デ・ロス・セラーノ、パリのシテ・アンテルナショナル、マドリッドのポンズ財団で開催された。また、ティッセン・ボルネミッサ美術館（マドリッド）、セルバンテス文化センター（ローマ）、フラン・ドーレル財団（バルセロナ）、カサ・デ・アメリカ（マドリッド）などでも展示された。また、バルセロナにあるヨーロッパ近代美術館（M.E.A.M）にも作品が常設。

Artist Statement

「私の絵画の原動力となっているのは、人間への永続的な興味であり、人間の精神、その感情的な共鳴、そしてそれが時間の経過とともに私たちと他者との関係に現れてくる方法です。

ペインティング、ドローイング、彫刻のテクニックを駆使して、私の作品は、現代社会に見られる個人的で普遍的な交流をテーマにしています。私の作品を特徴づけているのは、生々しく、即時的で、揺るぎない感情の極限をもたらす、直接的で率直なグラフィックインパルスの概念です。幾重にも重ねられ、抽象化された刻印は累積され、それぞれの層が感情の強さを示します。私は、鑑賞者が被写体や集合意識との出会いを経験するよう、絵画の内面に引き込まれていくよう試みています。」

Felipe Alonso / Spain

Felipe Alonso is a graduate of the Faculty of Fine Arts of the Complutense University of Madrid. He earned an artistic residency in Paris awarded by the Ministry of Culture of Spain. He studied at the College of Spain in Paris, and obtained a postgraduate scholarship with the Arauco Foundation, under the direction of Guillermo Muñoz Vera in Madrid.

He has received numerous awards and recognitions among which are: the first prize of drawing of the Polytechnic University of Madrid, the Francisco de Goya Cátedra and several awards acquisition of the Foundation of Arts and Artists.

Felipe Alonso has made individual exhibitions at the Palacio de los Serrano, at the Cité Internationale in Paris and at the Fundación Pons in Madrid. Collectively he has exhibited at the Thyssen Bornemisza Museum in Madrid, the Cervantes Institute in Rome, the Fran Daurel Foundation in Barcelona and the Casa de América in Madrid. In addition, his work is exhibited permanently in the M.E.A.M, European Museum of Modern Art, located in Barcelona.